

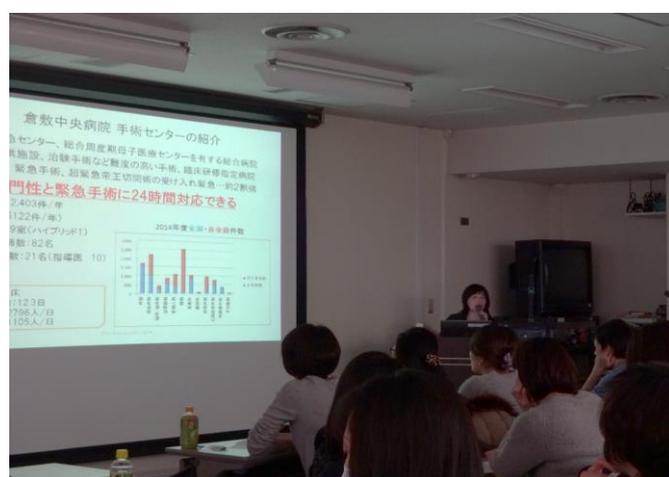
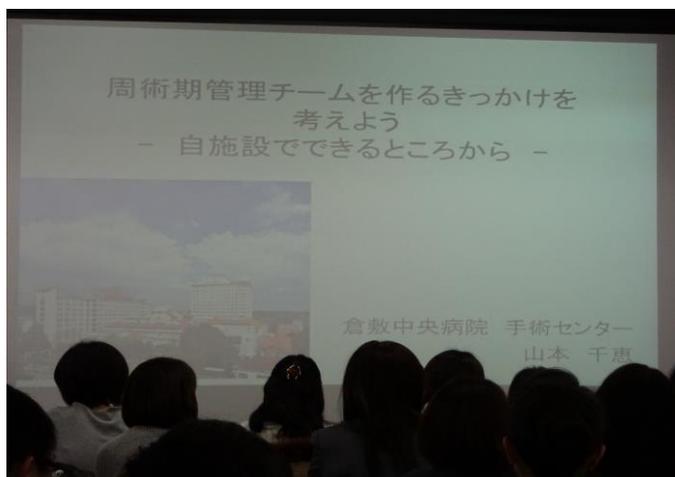
<第7回手術室管理者のための情報交換会 開催報告・アンケート 集計結果>

開催日時:平成28年3月12日(土) 13:00~16:30
場所 :東京都看護協会
参加人数: 83名 (会員 60名 非会員 23名)
アンケート回収率 99%(82枚)

講演 『周術期管理チームを作るきっかけを考えよう -自施設でできることから-』

倉敷中央病院手術センター統括看護師長 山本 千恵 先生

術前外来開始から、開始後の整備・進化について講義をしていただきました。



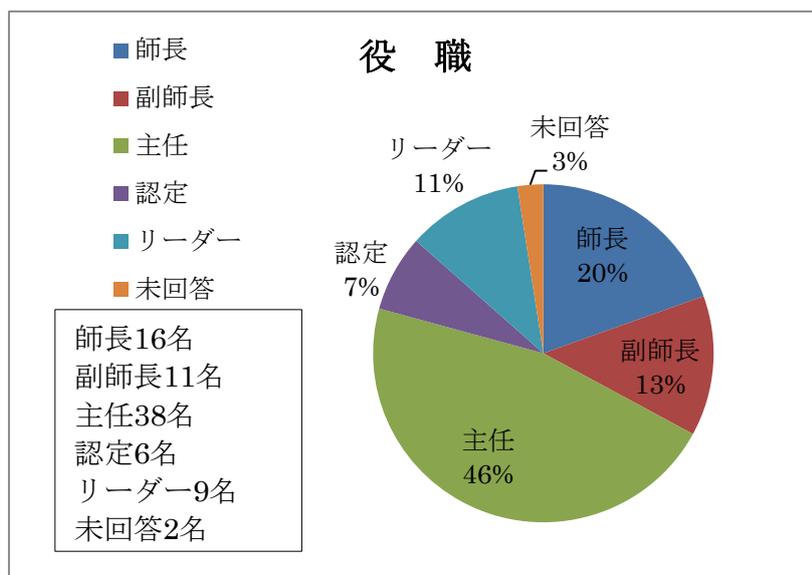
後半は、グループに分かれ各施設の現状・問題点等を情報交換し討議しました。



アンケート結果

1) 役職

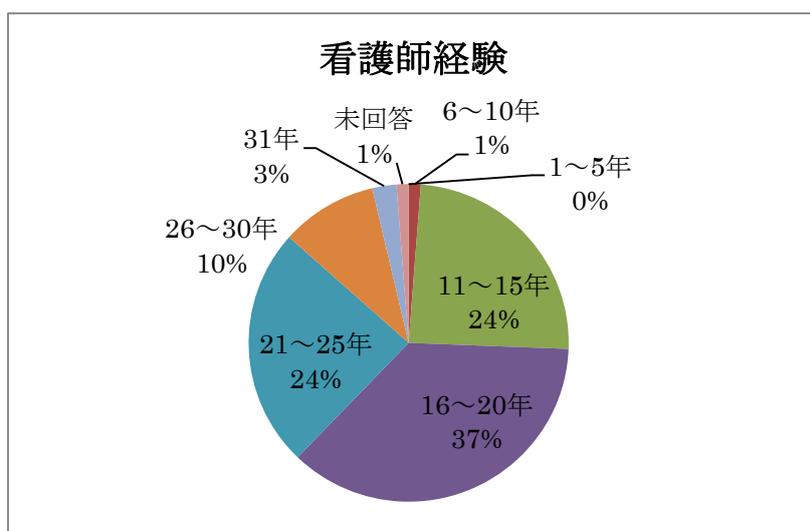
師長 16名(20%)副師長 11名(13%)主任 38名(46%)認定 6名(7%)リーダー 9名(11%)未回答 2名(3%)であった。



2) 経験年数

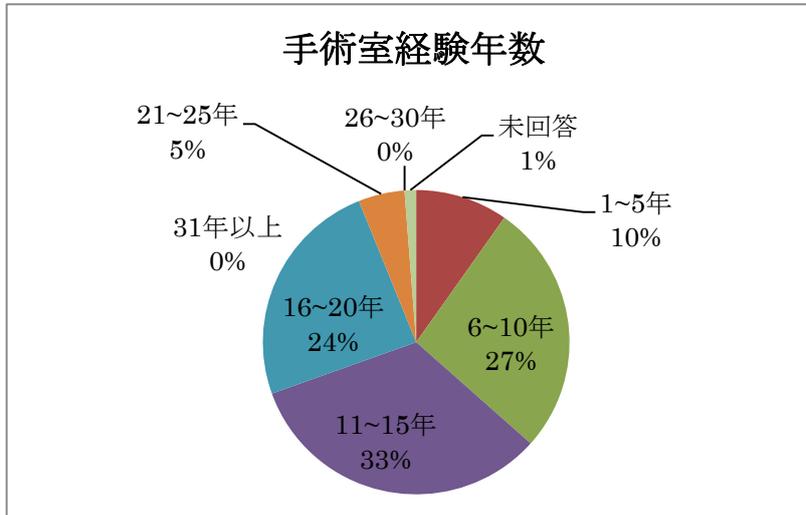
(1) 看護師経験年数

参加者の看護師経験年数は、9年目～31年と幅が広く、16年から20年が30名(37%)、次いで21～25年目、11～15年目が各20名(24%)であった。



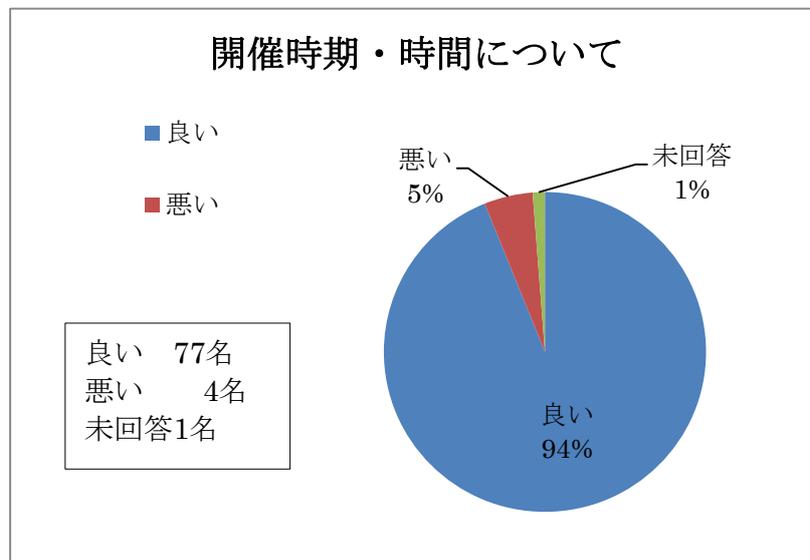
(2) 手術室経験年数

手術室経験年数は1年目から25年であった。11年目～15年目が27名(33%)と多く、次いで6～10年が22名(27%)であった。



3) 開催時期・時間について

良いとの回答が77名(94%)悪いが4名(5%)未回答1名(1%)であった。

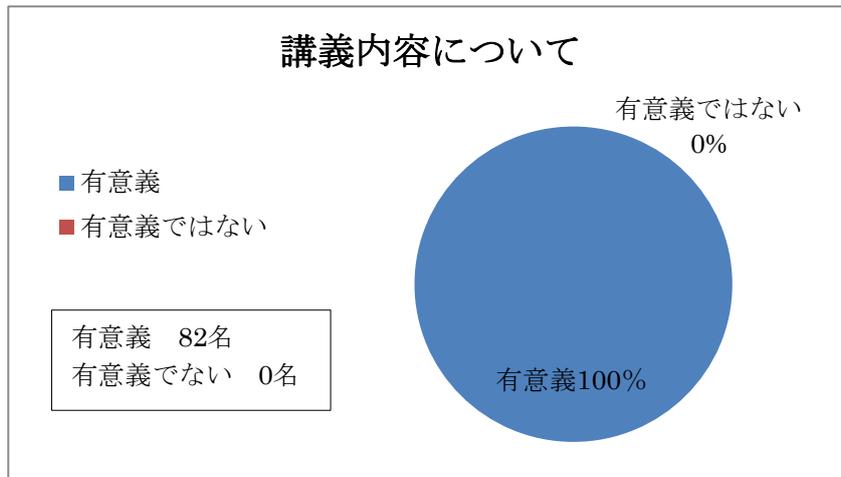


悪いと記載された方の希望時期・時間の意見

- ・もう少し早い時期の方が良いと思う。4月から年度が変わるので組み込めるためには準備期間が必要です。(副師長)
- ・4月からスタートを目指したい場合は10月～12月に開催してもらえると良いと思います。(主任)
- ・9月位が良かった。年度末だと次年度に活かしにくい(副主任)
- ・年度末ではなく、もう少し早い方が課題の取り組みができるため(師長)

4) 講演の内容について

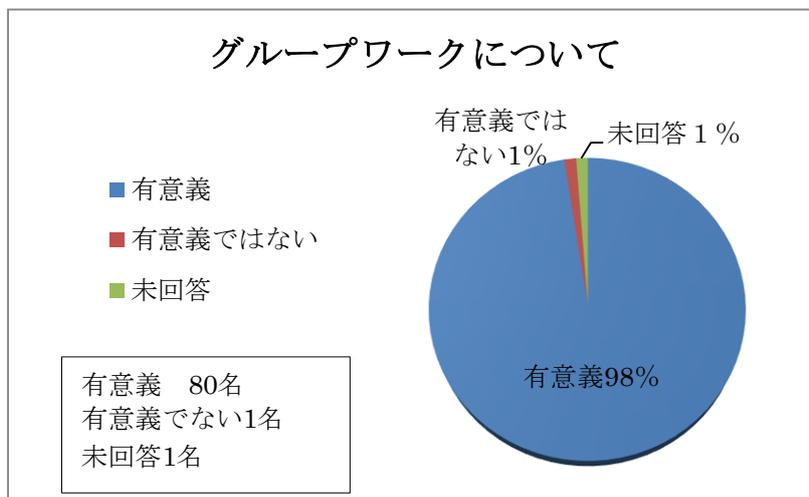
参加者全員が有意義と回答した。



- ・自施設で取り組めることもあるのではと思い、とっても参考になった。
- ・これから始めていこうとしているので具体的な内容が聞けて良かった。
- ・術前外来をこれから導入するので参考になった。
- ・術前外来を開始しているものの、看護師の役割が麻酔科医の業務削減という印象が強かったが、外来で看護師として介入できる内容がまだまだ沢山あることに気が付かせてもらいました。
- ・自施設も手術件数も多く、術前情報をいつ誰が収集するか、またNsの術前訪問をどのように実施するか、診療科の協力も必要だと思った。
- ・チーム作り、個々のスキルアップの大切さ、動機づけのきっかけが理解できました。
- ・何を目標に改善したか、チームの一人一人が目標を共有できるよう人材育成し、システムを構築することが重要と思った。
- ・手術室師長として兼務で行っており、他施設の取り組みを知ることができた。
- ・クリティカルパスについてももう少し教えてほしかった。

5) グループワークについて

有意義との回答が80名(98%)有意義でないが1名(1%)未回答1名(1%)であった。



- ・様々な施設での情報共有、情報交換が行えたのが良かった。
- ・他施設の取り組みを聞くことで勉強になり、刺激になった。
- ・同じ悩みを抱えていることがわかった。
- ・テーマ以外でも他院の情報を知ることができた。
- ・自分の施設で何から始めるか気づける。
- ・グループワークの時間が長すぎる感じもするが、学びが多くて楽しかった。
- ・情報共有ということでは良かったが、今回のテーマについての情報収集には少し不足であった。

6) 今後希望する情報交換会の内容

- ・教育について:ゆとり世代の教育、新人教育、やりがい、ラダー教育など
- ・手術室に置ける PNs について
- ・人材育成
- ・どうすれば活気のある職場や続けられるかなどについて
- ・病棟 Ns が手術室で働きやすいと言ってくれる職場にするには
- ・病院ラダーと手術室(OJT)との連動
- ・手術室看護の質の評価をどのようにするか
- ・手術室におけるシステム(電子化)について
- ・学会認定について
- ・ペリオ
- ・術中体位に関する基準
- ・循環・神経障害予防
- ・コミュニケーション能力
- ・術前外来の取り組み
- ・中材業務 助手業務内容
- ・OPE 室における DPNS について
- ・リスクマネジメント(タイムアウト)
- ・デブリーフィングの方法
- ・術後訪問を効果的に実施する方法

7)その他

- ・明るい気持ちになった。(師長)
- ・講演をもっと増やしてほしい。(主任)
- ・手術室は院内では一つしかなく、理解されないことが多い、外来とまではなかなか難しいが、逆に手術室から発信することのできるヒントがたくさんありました。患者さんを思う気持ちはどの Ns も一緒。そして手術室 Ns としての成長を促し、手術室が外にアピールするとても良いチャンスと思いました。ありがとうございました。(師長)
- ・色々な大きさの施設で体制の違いで話ができる機会があって良かったです。手術室という少ない集団でコアな話が出来て本当に良かったです。ありがとうございました。(主任)